

固化培地育苗または直まきによるスターチスの高品質・多収生産技術

【1 成果概要】

スターチス・シヌアータは、固化培地育苗または直まきにより、株当たり良品採花本数、上位規格本数とも増加します。

【2 成果の内容】

- (1) 固化培地育苗は、「エクセルソイル」の200穴セルトレイを用いた10月中旬の播種により、やや太い側根が数本発達し、株当たり良品採花本数、2L・L規格本数とも慣行育苗より増加します。
- (2) 直まきは、10月中旬の播種により、地上部の生育は慣行より旺盛となり、主根が発達します。株当たり良品採花本数、2L・L規格本数とも慣行より増加します。

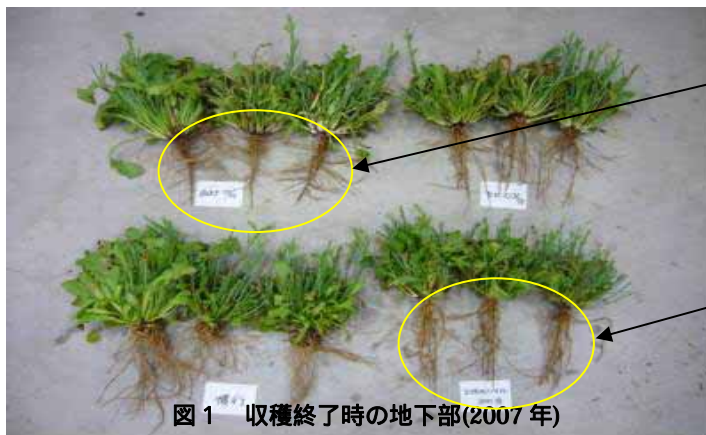


図1 収穫終了時の地下部(2007年)

【図1の説明】

- 左上：直まき
主根が太く伸びます
 - 右上：セル育苗（セル128穴）
やや太い側根が数本発達します
 - 左下：慣行育苗
主根が見られず、細かい側根が多数発生します
 - 右下：固化培地育苗（セル200穴）
やや太い側根が数本発達します
- 播種日：平成18年10月19日

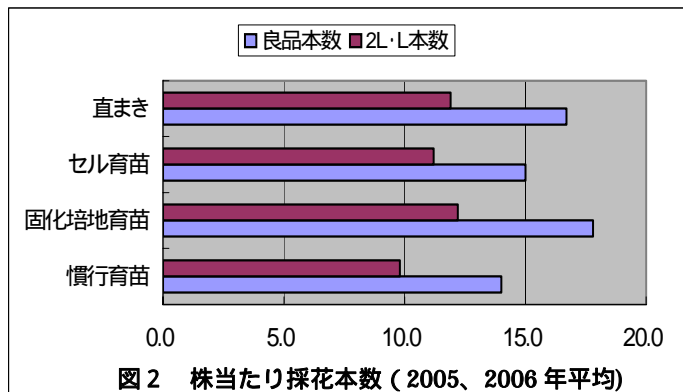


図2 株当たり採花本数 (2005、2006年平均)

表1 収益性 (10aあたり試算値) 単位：千円

育苗等の方式	粗収益	変動費+固定費	所得
直まき	1,479	1,058	421
セル育苗	1,365	1,019	346
固化培地育苗	1,548	1,090	458
慣行育苗	1,203	887	316

岩手県生産技術体系を一部改変
単価はH18、H19年規格別単価を適用（A農協実績）
栽植本数3,600株/10a、採花本数は表3より
2カ年の平均値

【3 留意事項】

- (1) 適用品種は「ソピア」で、栽培方式は内張り保温によるハウス無加温栽培です。
- (2) 固化培地育苗では1セル当たり2粒まきとし、本葉2枚時に定植します。なお、この培地には肥料が含まれていないので、発芽後、液肥2号2000倍を週1回追肥します。
- (3) 直まきは1ヶ所3粒まきとし、発芽後、本葉4～5枚時に間引いて1本立ちにします。播種後は虫害による欠株対策に留意します。

【4 導入のメリット】

収益性を試算すると、固化培地育苗または直まきにより、慣行育苗に比べ所得が向上します。